

エコアクション21 環境活動レポート



第1版
(2014年8月1日発行)

運用期間：2014年1月～3月（試行期間）
(2014年1月5日改正 再スタート)

 快適な暮らしを創造する
OKAMURA 株式会社 オカムラ
TEL:0964-33-0131 FAX:0964-33-0985

目次

目次	2
I. 組織概要	4
1. 事業所概要	4
2. 社有地	5
◆ 本社事務所	5
◆ 社員駐車場①	5
◆ 本社ビル管理係倉庫・車庫	5
◆ リサイクル事業部	5
◆ リサイクルセンター	5
◆ 社員駐車場②	5
◆ リサイクル駐車場	5
◆ 環境保全部車庫・作業場	5
◆ 熊本南営業所	5
3. 組織図	6
4. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	6
5. 事業内容	7
◆ 一般廃棄物収集運搬業務	7
◆ 産業廃棄物収集運搬業務	8
◆ 特別管理産業廃棄物収集運搬業務	8
◆ 一般廃棄物中間処理業務	9
◆ 産業廃棄物中間処理業務	9
◆ 産業廃棄物処理施設	10
◆ 処理工程図	11
◆ 総合水処理業務	17
◆ 総合建物管理業務	17
◆ 給水施設管理業務	17
◆ 建築物維持管理業務	17
◆ その他	18
II. 環境マネジメントシステム運営	20
1. 適用範囲	20
2. 実施体制図	21
3. 役割分担表	22
4. 環境方針および行動指針	23
5. 環境目標	24
◆ 中期（3か年）環境目標（H26～H28年度）	24
6. 環境活動計画	25

7.	環境目標の実績	26
8.	環境活動計画の取組状況とその評価	27
◆	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	28
9.	取組結果とその評価、次年度の取組内容	28
◆	電力使用量の削減	28
◆	化石燃料使用量の削減	28
◆	水使用量の削減	29
◆	一般廃棄物の排出量削減	29
◆	受託産業廃棄物のリサイクル率 100%推進	29
◆	グリーン購入率の向上	29
◆	化学物質の適正管理	29
◆	社会貢献・清掃活動実施	29
10.	代表者による全体評価と見直しの結果	30

I. 組織概要

1. 事業所概要

事業所名 株式会社オカムラ
代表者 代表取締役 岡村 謙一
住所 熊本県宇城市松橋町久具 1948-1
TEL 0964-33-0131
設立年月日 昭和61年5月16日
従業員 129名
資本金 1,000万円

事業内容

<リサイクル事業部>

一般・産業廃棄物収集運搬業務
一般・産業廃棄物中間処理業務
管洗浄業務
衛生器具レンタル

<総合管理部>

ビル清掃
貯水槽・配水池清掃
給水装置管理

<環境保全部>

工業排水処理施設維持管理
下水道維持管理
農業排水処理施設維持管理
浄化槽管理

し尿汲み取り

<指定管理部>

公共施設指定管理業務

<営業部>

飲料水販売業

売上高 775,000千円
(事業会計年度 平成25年4月～平成26年3月)

2. 社有地

◆本社事務所

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1948-1
T E L 0964-33-0131
F A X 0964-33-0985
延べ床面積 497.7㎡

◆社員駐車場①

住 所 熊本県宇城市松橋町久具財間 1954
面 積 680.00㎡
管 理 者 前田 光也

◆本社ビル管理係倉庫・車庫

住 所 熊本県宇城市松橋町久具財間 1953-2
延べ床面積 321.00㎡
管 理 者 前田 光也

◆リサイクル事業部

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1821-1
T E L 0964-27-8686
F A X 0964-27-8700
延べ床面積 2,097.00㎡

◆リサイクルセンター

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1822-1
T E L 0964-27-8686
F A X 0964-27-8700
延べ床面積 512.83㎡

◆社員駐車場②

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 1800
面 積 502.00㎡
管 理 者 竹口 功

◆リサイクル駐車場

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 3088
面 積 898.80㎡
管 理 者 中村 康人

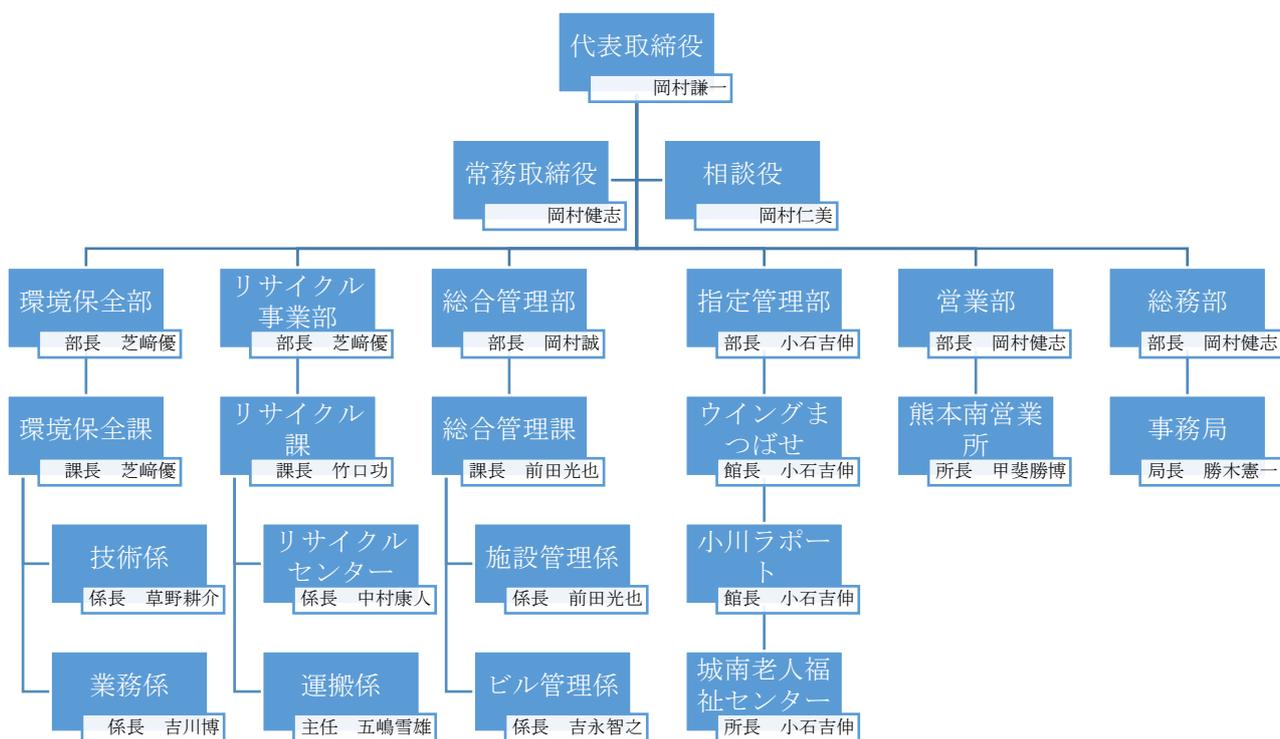
◆環境保全部車庫・作業場

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 1707-2
延べ床面積 331.43㎡
管 理 者 吉川 博

◆熊本南営業所

住 所 熊本県熊本市南区富合町志々水 191
T E L 096-358-4466
F A X 096-358-4467
延べ床面積 105㎡

3. 組織図



※指定管理部…対象範囲には含まれませんが、環境に配慮した運営を行っております。

4. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- 環境管理責任者

常務取締役 岡村 健志

TEL0964-33-0131 FAX0964-33-0985

- 環境管理担当者

課長 竹口 功

TEL0964-33-0131 FAX0964-33-0985

5. 事業内容

◆ 一般廃棄物収集運搬業務

許認可等の種類	許認可番号等	登録車両番号
一般廃棄物収集運搬業	熊本市 第14R-140号	熊本 400 つ 8187 / 熊本 800 さ 6366 熊本 88 す 9498
	宇城市 宇城市環第3-13号 し尿及び浄化槽汚泥を除く 一般廃棄物	熊本 88 す 9513 / 熊本 800 す 1265 熊本 800 す 4446 / 熊本 800 す 4456 熊本 800 す 5471 / 熊本 800 す 7013 熊本 800 す 7194 / 熊本 800 す 7684 熊本 800 す 8386 / 熊本 400 た 2669 熊本 100 す 5288 / 熊本 100 さ 9872 熊本 400 そ 9485 / 熊本 100 は 2747 熊本 800 さ 2577 / 熊本 800 す 5330 熊本 100 せ 4834 / 熊本 100 せ 4800 熊本 800 す 5470
	宇城市 宇城市環第1-4号 ※し尿及び浄化槽汚泥	熊本 800 は 56 / 熊本 800 す 1326 熊本 800 す 4176 / 熊本 800 さ 6518 熊本 800 さ 8466 / 熊本 88 せ 733 熊本 800 す 5261
	宇土市 第6号	熊本 800 す 9513 / 熊本 800 す 4446 熊本 800 す 4456
	氷川町 氷川町許可第24-1号	熊本 800 す 4456 / 熊本 800 す 7013 熊本 88 す 9513 / 熊本 100 さ 9872
	美里町 美里保第901号	熊本 88 す 9513 / 熊本 800 す 5470 熊本 800 す 5471 / 熊本 800 す 4446 熊本 800 す 4456 / 熊本 800 す 7013 熊本 100 は 2747 / 熊本 100 さ 9872 熊本 400 そ 9485 / 熊本 400 た 2669 熊本 100 す 5288 / 熊本 800 さ 2577 熊本 800 す 5330 / 熊本 100 せ 4800 熊本 100 せ 4834
	八代市 許可(収)第26-52号	熊本 800 す 4446 / 熊本 800 す 4456 熊本 88 す 9513 / 熊本 800 す 7013 熊本 100 さ 9872

◆産業廃棄物収集運搬業務

許認可番号等	熊本県 第 4300004186 号
登録車両番号	熊本 11㍑ 5354 / 熊本 46と 7767 / 熊本 88す 9513 熊本 100さ 9872 / 熊本 800さ 9511 / 熊本 400そ 9485 熊本 400た 2669 / 熊本 100す 5288 / 熊本 100す 7870 熊本 100は 2747 / 熊本 800さ 2577 / 熊本 800す 5330 熊本 100せ 4800 / 熊本 100せ 4834 / 熊本 800す 5471 熊本 800す 8584
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)
取り扱う産業廃棄物の種類	金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類、がれき類、汚泥、動植物性残さ、ゴムくず、木くず、紙くず、繊維くず、廃酸、廃アルカリ、廃油、燃え殻（これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）

許認可番号等	福岡県 第 4000004186 号
登録車両番号	熊本 100は 2747 / 熊本 11㍑ 5354 / 熊本 100す 7870 熊本 100せ 4800 / 熊本 100せ 4834
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)
取り扱う産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、（以上 3 品目については、自動車等破砕物を除く。）、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ

◆特別管理産業廃棄物収集運搬業務

許認可番号等	熊本県 第 4350004186 号
登録車両番号	熊本 800さ 2577 / 熊本 800す 5330 熊本 100せ 4800 / 熊本 100せ 4834
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)
取り扱う産業廃棄物の種類	廃酸（水素イオン濃度指数が 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃アルカリ（水素イオン濃度指数が 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、感染性産業廃棄物

許認可番号等	福岡県 第 4050004186 号
登録車両番号	熊本 100せ 4800 / 熊本 100せ 4834
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)
取り扱う産業廃棄物の種類	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃酸（水素濃度指数 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃アルカリ（水素イオン濃度指数 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、感染性産業廃棄物 以上 4 品目

◆一般廃棄物中間処理業務

許認可番号等	宇城市 宇城市環第 4-2 号
取扱一般廃棄物の種類	し尿及び浄化槽汚泥を除く一般廃棄物
選別	磁力選別機 (5.0t 未満/8ht) 手選別ベルトコンベア
溶融	1 施設 (発泡スチロール 320 kg/8ht)
破碎	2 施設 (5.0t 未満/8ht×2 施設)
圧縮	1 施設 (金属 5.0t 未満/8ht)
圧縮梱包	1 施設 (廃プラ 80t/8ht)
精製	1 施設 (食用油 100 ℓ/8ht)
その他	計量器×1 施設・車両 (フォークリフト) ×2 施設

◆産業廃棄物中間処理業務

許認可番号等	熊本県 許可番号 第 04320004186 号	
許可の年月日	平成 24 年 2 月 8 日	
許可の有効期限	平成 29 年 2 月 7 日	
処理方式	取り扱う産業廃棄物の種類	処理能力
破碎	木くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	木くず 2.3t/日 (8h) 廃プラスチック類 3.5t/日 (8h)
圧縮・梱包	紙くず、繊維くず、金属くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	紙くず 740.8 t/日 (8h) 繊維くず 106.4 t/日 (8h) 金属くず 649.6 t/日 (8h) 廃プラスチック類 769.6 t/日 (8h)
分解・選別①	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破碎物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	1.5 t/日 (8h)
分解・選別②	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破碎物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	3.6 t/日 (8h)
減容	廃プラスチック類 (廃発泡スチロールに限り、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	0.32 t/日 (8h)

廃棄物処理費につきましては、個別見積とさせていただきます。

◆産業廃棄物処理施設

処理方法	項目	
破砕	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1820 番 2
	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	木くず 2.3 t/日 (8h) 廃プラスチック類 3.5 t/日 (8h)
圧縮・梱包	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1
	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	紙くず 740.8 t/日 (8h) 繊維くず 106.4 t/日 (8h) 金属くず 649.6 t/日 (8h) 廃プラスチック類 769.6 t/日 (8h)
分解・選別 ①	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1
	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	1.5 t/日 (8h)
分解・選別 ②	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1820 番 2
	設置年月	平成 23 年 9 月 4 日

	日 処理能力	3.6 t/日 (8h)
減容	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1
	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	0.32 t/日 (8h)

◆ 処理工程図

● 産業廃棄物中間処理（リサイクル事業部）

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先
排出事業者 (198.2 t)	木くず (182.0 t)	破砕	木チップ[S1] (182.0 t)	燃料メーカー [S1+S2] (182.0 t)
	廃プラスチック類 (12.5 t)		硬質プラチップ (12.5 t)	再生原料メーカー (12.5 t)
	紙くず (0.0 t)	圧縮・梱包	軟質プラプレス (0.0 t)	製紙メーカー (0.0 t)
	繊維くず (0.0 t)		古紙ベール (0.0 t)	2次処理メーカー (0.0 t)
	金属くず (3.3 t)	圧縮	繊維ベール (0.0 t)	鉄鋼メーカー (3.3 t)
	混合物 (0.4 t)	分解選別①	金属プレス (3.3 t)	2次処理業者 (0.0 t)
	廃発泡スチロール (0.0 t)	分解選別②	※品目別に再選別 (0.4 t)	自社工程へ (0.4 t)
		減容	PS インゴット (0.0 t)	2次処理業者 (0.0 t)

※数量の減少は異物、ロス、および品目違い等、出荷数量は合算となっているものもあります。

● 産業廃棄物収集運搬（リサイクル事業部）

排出者	廃棄物種類	収集運搬量	処理方法	処分先	
排出事業者 (1.254t)	ガラス・陶磁器 (51.336 t)	(51.336 t)	選別	A社 (0.276 t)	
				B社 (0.43 t)	
				C社 (0.02 t)	
				焼却	D社 (50.61 t)
	がれき類 (3.71t)	(3.71t)	破碎	A社 (3.5 t)	
			選別	B社 (0.21 t)	
	ゴムくず (0.15t)	(0.15t)	選別	A社 (0.15 t)	
	汚泥 (824.23t)	(824.23t)	メタン発酵	D社 (97.39 t)	
			管理型埋立	D社 (2.92 t)	
			焼却	D社 (18.73 t)	
			多用途原材料化	D社 (791.31 t)	
	金属くず (4.556t)	(4.556t)	選別	A社 (2.853 t)	
				B社 (1.673 t)	
				C社 (0.03 t)	
	廃液 (4.29 t)	(4.29 t)	焼却	D社 (4.29t)	
	廃アルカリ(0.46 t)	(0.46 t)	中和	D社(0.64 t)	
木くず (183.425 t)	(183.425 t)	選別	A社 (182.01 t)		
		破碎	B社 (1.415 t)		
感染性産業廃棄物 (71.565 t)	(71.565 t)	焼却	D社 (71.565 t)		
廃油 (0.045 t)	(0.045 t)	焼却	D社 (0.045 t)		
廃プラ (111.269 t)	(111.269 t)	選別	A社 (8.246 t)		
		選別	B社 (9.255 t)		
		選別	C社 (0.01 t)		
		焼却	D社 (82.768 t)		
		溶解	E社 (10.99 t)		

● 一般廃棄物中間処理〔リサイクル事業部〕

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先
宇城市 委託処理分 (906.6 t) + (68.9 千本)	アルミ缶 (23.3 t)	選別・圧縮	アルミプレス [A1]	鉄鋼メーカー (107.1 t)[A1+A2]
	スチール缶 (26.0 t)	選別・圧縮	Cプレス [B1]	鉄鋼メーカー (168.4 t)[B1+B2]
	ペットボトル (32.7 t)	選別・圧縮	ペットプレス [C1]	2次処理業者 (115.8 t)[C1+C2]
	透明びん (59.0 t)	選別・保管	透明カレット [D1]	2次処理業者 (91.5 t)[D1+D2]
	茶色びん (66.4 t)	選別・保管	茶カレット [E1]	2次処理業者 (107.9 t)[E1+E2]
	その他の色びん (16.9 t)	選別・保管	その他カレット [F1]	2次処理業者 (9.4 t)[F1+F2]
	新聞紙・チラシ (258.3 t)	選別・圧縮梱包	新聞プレス [G1]	新聞プレス (467.5 t)[G1+G2]
	雑古紙 (158.6 t)	選別・圧縮梱包	雑誌プレス [H1]	雑誌プレス (593.1 t)[H1+H2]
	段ボール (63.2 t)	選別・圧縮梱包	段ボールプレス [I1]	段ボールプレス (676.5 t)[I1+I2]
	生きびん (68.9 千本)	選別・保管	一升びん [J1]	酒造問屋 (26.9 千本)[J1+J2]
	古布(51.5 t)	選別・保管	ビールびん [K1]	酒造問屋 (85.3 千本)[K1+K2]
	プラスチック類 (48.1 t)	選別・圧縮梱包	ウエス [L1]	2次処理業者 (64.2 t)[L1+L2]
	発泡スチロール (6.6t)	選別・溶融	プラプレス	2次処理業者 (48.1t)
	金属類 (47.2 t)	選別 保管 圧縮	PS ینگット [M1]	2次処理業者 (22.8 t)[M1+M2]
	廃食油 (6.5 t)	保管	鉄 [N1]	2次処理業者 (223.7 t)[N1+N2]
	粗大ごみ (42.2 t)	選別 保管 処理	非鉄 [O1]	2次処理業者 (36.7 t)[O1+O2]
			鉄プレス [P1]	鉄鋼メーカー (47.9 t)[P1+P2]
		非鉄プレス [Q1]	鉄鋼メーカー (8.6 t)[Q1+Q2]	
		廃食油 [R1]	2次処理業者 (13.3 t)[R1+R2]	
		可燃ごみ 処理困難物	宇城リ-ンター-(22.8 t)	
		※上記各項目へ	宇城リ-ンター-(9.6 t)	
			※上記各項目へ	

※数量の減少は異物、ロス、および品目違い等、出荷数量は合算となっているものもあります。

● 一般廃棄物中間処理〔リサイクルセンター (1/2)〕

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先	
一般持込 及び 自社回収 (3246.7t) ※次頁言	アルミ缶 (53.9 t)	選別	アルミプレス [A2]	鉄鋼メーカー (107.1 t)[A1+A2]	
	スチール缶 (87.0 t)		Cプレス [B2]	鉄鋼メーカー (168.4 t)[B1+B2]	
	ペットボトル (40.3 t)		ペットプレス [C2]	2次処理業者 (115.8 t)[C1+C2]	
	びん類 (71.7 t)	保管	カレット [D2]	2次処理業者 (208.7 t)[D1+D2]	
	飲料容器混合 (148.4 t)			上の各項目を含む	
	新聞紙・チラシ (152.7 t)	選別	新聞プレス [G2]	新聞プレス (467.5 t)[G1+G2]	
	雑古紙 (241.0 t)		雑誌プレス [H2]	雑誌プレス (593.1 t)[H1+H2]	
	段ボール (565.7 t)		段ボールプレス [I2]	段ボール (676.5 t)[I1+I2]	
	古紙その他 (118.4 t)	選別・保管	その他	2次処理業者 (32.4 t)	
	一升びん (8.3 千本)		一升びん [J2]	酒造問屋 (23.8 千本)[J1+J2]	
	ビールびん (30.7 千本)	選別・保管	ビールびん [K2]	酒造問屋 (84.0 千本)[K1+K2]	
	古布 (12.7 t)		ウエス [L2]	2次処理業者 (64.2 t)[L1+L2]	
	プラスチック類 (60.0t)	選別	硬質プラチップ	2次処理業者 (18.2 t)	
	発泡スチロール (10.9t)	破砕	軟質プラプレス	PSインゴット [M2]	2次処理業者 (22.6 t)[M1+M2]
		圧縮 梱包			
	鉄類 (72.6 t)	選別	鉄 [N2]	2次処理業者 (223.7 t)[N1+N2]	
	非鉄類 (15.6 t)	選別	鉄プレス [P2]	鉄鋼メーカー (47.9 t)[P1+P2]	
			保管	非鉄 [O3]	2次処理業者 (36.7 t)[O1+O2]
	廃食油 (5.6 t)	保管	非鉄プレス [Q3]	鉄鋼メーカー (4.1 t)[Q1+Q2]	
			保管	廃食油 [R2]	2次処理業者 (6.5 t)[R1+R2]
雑品他 (27.0 t)	選別	その他雑品	2次処理業者 (64.4 t)		
不燃ごみ (55.5 t)	選別	不燃ごみ (ガラス他)	2次処理業者 (32.7 t)		

※次ページへ続く

● 一般廃棄物中間処理〔リサイクルセンター（2/2）〕

排出者	受入品目	処理方法		出荷品目	出荷先
一般持込 及び 自社回収 (3246.7t) ※前頁含	木くず (53.5 t)	選別	破碎	木くずチップ [S2]	2次処理業者 (215.3 t)[S1+S2]
			保管	木くずその他	2次処理業者 (25.7 t)
	可燃ごみ (1379.2 t)	選別	保管	可燃ごみ	各自治体清掃工場 (1753.4 t)
	その他プラ (2.5 t)	選別	保管	その他プラ (PP 他)	2次処理業者 (26.8 t)
	その他金属 (5.8 t)	選別	保管	その他金属 (モーター他)	2次処理業者 (10.7 t)
混合物他 (66.7t)	選別	保管	※上記各項目へ	※上記各項目へ	

※数量の減少は異物、ロス、および品目違い等、出荷数量は合算となっているものもあります。

一般廃棄物収集運搬量

品目	数量 (t)
飲料容器類	62.9
古紙類	619.2
生きビン類	1000 本
鉄類	28.5
非鉄類	9.6
木	34.3

く ず 類	
可 燃 ご み	1338.5
プ ラ ス チ ツ ク 類	38.4
不 燃 物 類	47.8
そ の 他 金 属	0.8
混 合 物 他	66.6



● 産業廃棄物処理実績
廃棄物の収集運搬量・処分量

項 目		単 位	平成 24 年度	平成 25 年度
産業廃棄物	収集運搬量	t	1,293	1,254
	中間処理量	t	144.4	198.2
	うち再資源化等量	t	144.4	198.2
	最終処分量	t	0	0
	中間処理後の産廃の処分量	t	0	0
	うち再資源化等量	t	0	0

◆ 総合水処理業務

許認可等の種類	許認可番号等
浄化槽保守点検業	熊本県 熊本県知事(25)第 101 号
浄化槽清掃業	宇城市 宇城市環第 2-4 号

◆ 総合建物管理業務

許認可等の種類	許認可番号等
建築物環境衛生総合管理業	熊本県 熊本県 16 総第 3 号

◆ 給水施設管理業務

許認可等の種類	許認可番号等
建築物飲料水貯水槽清掃業	熊本県 熊本県 10 貯第 2 号

◆ 建築物維持管理業務

許認可等の種類	許認可番号等
建築物環境衛生総合管理業	熊本県 熊本県 16 総第 3 号

建築物ねずみ昆虫等防除業

熊本県 熊本県 21 ね第 1 号

◆その他

衛生器具レンタル業

● 許可一覧

許認可等の種類	許認可等番号	有効期限	
建築物飲料水貯水槽清掃業	熊本県 10 貯第 2 号	H22.08.25~H28.08.24	熊本県
建築物環境衛生総合管理業	熊本県 16 総第 3 号	H22.08.31~H28.08.30	熊本県
建築物ねずみ昆虫等防除業	熊本県 21 ね第 1 号	H21.06.30~H27.06.29	熊本県
浄化槽保守点検業	熊本県知事(25)第 101 号	H25.07.23~H28.07.22	熊本県
浄化槽清掃業	宇城市環第 2-4 号	H26.04.01~H28.03.31	宇城市
産業廃棄物収集運搬業	第 4300004186 号	H23.07.05~H28.07.04	熊本県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	第 4350004186 号	H25.06.30~H30.06.29	熊本県
産業廃棄物収集運搬業	第 4000004186 号	H25.09.13~H30.09.12	福岡県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	第 4050004186 号	H25.09.03~H30.09.02	福岡県
産業廃棄物処理業（中間処理）	第 4320004186 号	H24.02.08~H29.02.07	熊本県
一般廃棄物処理業（中間処理）	宇城市環第 4-2 号	H26.04.01~H28.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業	第 14R-140 号	H26.04.01~H28.03.31	熊本市
一般廃棄物収集運搬業	宇城市環第 3-13 号	H26.04.01~H28.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業	第 6 号	H26.06.01~H28.05.31	宇土市
一般廃棄物収集運搬業	氷町許可第 26-2 号	H26.07.01~H28.06.30	氷川町
一般廃棄物収集運搬業	美里保第 901 号	H25.04.01~H27.03.31	美里町
一般廃棄物収集運搬業	許可（収）第 26-52 号	H26.07.01~H28.03.31	八代市
古物商	第 931170000898 号	H21.03.03	熊本県

● 施設等の状況

（車両の種類と台数）

パッカー車	11 台	吸引車	2 台
保冷車	2 台	10t ダンプ	1 台
冷凍冷蔵車	3 台	ユニック車	2 台
アームロール	3 台	ダンプ車	1 台
ゲート車	3 台	フォークリフト	3 台
ウイング車	1 台	ユンボ	3 台
高圧洗浄車	2 台	平ボディ車	1 台
バキューム車	7 台	その他	18 台

II.環境マネジメントシステム運営

1. 適用範囲

下記の当社全サイトにおける、全組織、全事業、全従業員を対象範囲とする。

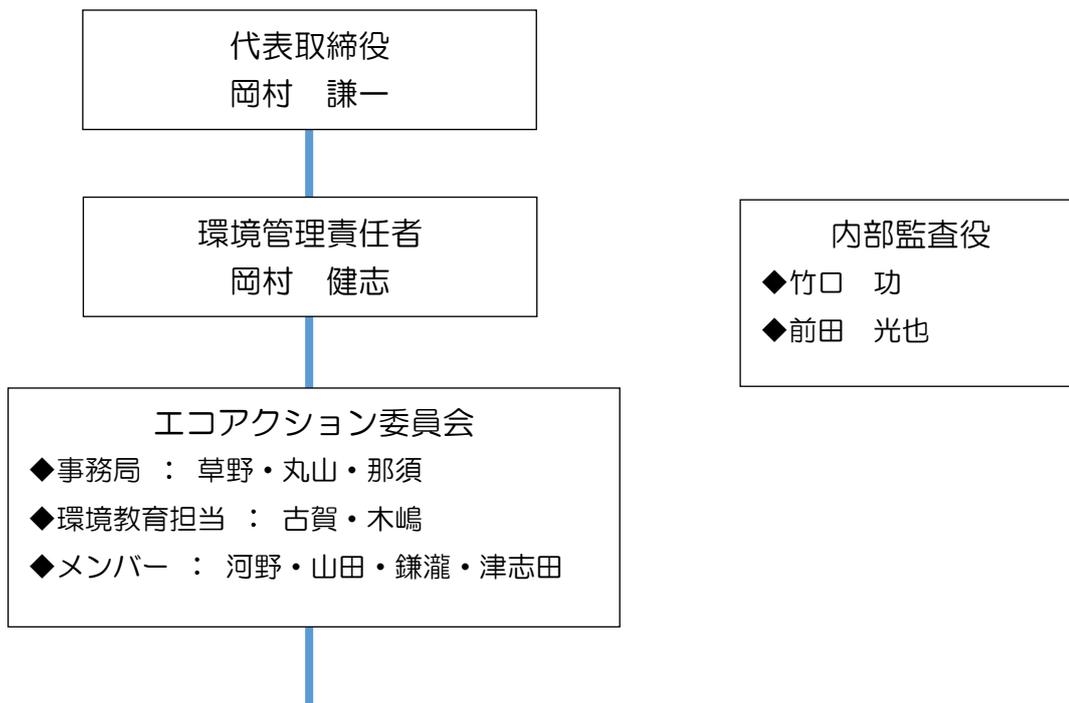
- 本社事務所
：環境保全部、総合管理部、総務部
- 社員駐車場①
：環境保全部、総合管理部、総務部
- 本社ビル管理係倉庫・車庫
：総合管理部
- リサイクル事業部
：リサイクル事業部
- リサイクルセンター
：リサイクル事業部
- 社員駐車場②
：リサイクル事業部
- リサイクル駐車場
：リサイクル事業部
- 環境保全部車庫・作業場
：環境保全部・リサイクル事業部
- 熊本南営業所
：営業部

<適用除外>

下記のサイト及び事業部は業務の性質上、第三者の所有施設内での業務となるため、適用除外とする。
ただし、その業務の運営においては環境マネジメントに準じた運営を行うものとする。

- ウイングまつばせ
：指定管理部
- 小川ラポート
：指定管理部
- 熊本市城南町老人福祉センター
：指定管理部
- 各常駐清掃受託施設
：管理部

2. 実施体制図



	電気 担当	燃料 担当	水道 担当	排水 担当	廃棄 物担 当	グリーン 購入担当
リサイクル事業部	深井	河野	長村	五嶋	山田	丸山
リサイクルセンター	橋本	岩田	豊岡	中村	岩田	米村
環境保全部	田中 大	木村	石川	吉川	近藤 雄	—
総合管理部	近藤 勇	緒方	田中 英	吉永	田添	—
指定管理部※	小石	村上	内田	内田	勝間 田	平間
熊本南営業所	甲斐	平野	甲斐	甲斐	平野	平野
総務部	宗村	勝木	宗村	勝木	勝木	宗村

指定管理部…対象範囲には含まれませんが、環境に配慮した運営を行っております。

3. 役割分担表

代表取締役	<p>環境経営に関する統括責任</p> <p>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</p> <p>環境管理責任者の任命</p> <p>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</p> <p>環境目標・環境活動計画書を承認</p> <p>代表者による全体の評価と見直しを実施</p> <p>環境活動レポートの承認</p>
環境管理責任者	<p>EA21 委員会の委員長として委員会の運営</p> <p>環境経営システムの構築、実施、管理</p> <p>環境関連法規等の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底</p> <p>環境目標・環境活動計画書の確認</p> <p>環境活動の取組結果を代表者へ報告</p> <p>環境活動レポートの確認</p>
EA21 委員会	<p>環境管理責任者の補佐</p> <p>環境活動目標及び年間計画の検討</p> <p>環境への付加の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</p> <p>環境関連文書及び記録の作成管理</p> <p>環境活動計画の実施・実績集計及び達成状況の報告</p> <p>従業員に対する教育訓練の実施、記録の作成</p> <p>環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び遵守評価の実施</p> <p>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</p> <p>環境活動レポートの作成、公開</p> <p>その他エコアクション 21 に関する業務</p>
事務局	<p>関係者（各部門責任者、事務担当者等）を適宜召集し、環境経営システムの運用上必要となる諸事項に対応</p> <p>環境経営システム運用状況の把握、課題整理</p> <p>EA21 委員会での検討内容の計画立案</p>
環境教育担当	<p>全従業員に対して環境方針の周知を図るとともに、環境教育を計画的に行う</p>
電気担当	<p>担当部署に対し部署に電気の節約を呼びかける</p>
燃料担当	<p>担当部署に対し部署毎に燃料（ガソリン、軽油、灯油）の節約を呼びかける</p>
水道担当	<p>担当部署に対し部署毎に水の節約を呼びかける</p>
排水担当	<p>担当部署の排水状況を定期的に確認する</p>
廃棄物担当	<p>担当部署に対しごみの分別、削減を呼びかける</p>
グリーン購入担当	<p>再生原料を使用したものを選定しグリーン購入を推進する</p>
全従業員	<p>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</p> <p>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動を推進</p>

4. 環境方針および行動指針

環境方針

株式会社 オカムラは、事業活動を通じ、安心・安全・安定した地域社会実現のため環境に関する行動指針を定め、完遂に向け邁進します。

行動指針

環境方針の実現に向けて以下のことを行動指針と致します。

1. 循環型社会の構築に向け、先進技術の導入等によりリサイクル率を向上させ廃棄物排出量及び総排水量の抑制を行います。
2. 作業の安全に心掛け、火気・臭気・排水に細心の注意を払い環境の汚染を防止します。
3. 環境関連法令等を遵守し、社内及びお客様・地域のみなさまが安心して暮らせる環境づくりに努めます。
4. エコドライブや節電を実践し、二酸化炭素排出量の抑制に取り組めます。
5. 環境に配慮した製品や資機材の購入を推進します。
6. この環境方針を全社員に配布及び掲示し、環境への意識高揚を図るとともに、職場以外においても、行動指針を順守します。

制定日：平成24年1月5日

株式会社 オカムラ

代表取締役

岡村謙一

5. 環境目標

◆中期（3か年）環境目標（H26～H28年度）

全体（オカムラ事業年度：4月～3月） 平成24年度：平成24年4月～平成25年3月

環境目標項目		単位	平成24年度 (実績・基準)	平成26年度 (目標)	平成27年度 (目標)	平成28年度 (目標)
電力使用量の削減		kWh	108,991	106,811 (2%削減)	105,721 (3%削減)	104,631 (4%削減)
化石燃料使用量の削減	ガソリン	L	19,571	19,179 (2%削減)	18,983 (3%削減)	18,788 (4%削減)
	軽油	L	121,473	119,043 (2%削減)	117,828 (3%削減)	116,614 (4%削減)
	灯油	L	869	851 (2%削減)	842 (3%削減)	834 (4%削減)
CO2排出量削減(①+②+③+④)		kg-CO2	423,698	415,224 (2%削減)	410,987 (3%削減)	406,750 (4%削減)
水の使用量の削減		m ³	543	532 (2%削減)	526 (3%削減)	512 (4%削減)
一般廃棄物（可燃ごみ）の排出量削減		t	0.351	0.343 (2%削減)	0.340 (3%削減)	0.336 (4%削減)
受託産業廃棄物のリサイクル率100%推進		%	100	100	100	100
グリーン購入率の向上		%	再生原料を使用した商品を選定する	100	100	100
化学物質の適正管理		—	該当なし	適正管理	適正管理	適正管理
社会貢献・清掃活動実施		回	1	2	2	2

①電力の二酸化炭素排出係数は九州電力23年度：0.525を使用。

*④に関連するCO2排出量の計算（四捨五入）

$$\text{④CO2排出量} = \text{①} \times 0.525 + \text{②} \times 0.0671 \times 34.6 + \text{③} \times 0.0687 \times 38.2$$

6. 環境活動計画

環境活動計画と部署毎の実施項目

環境目標項目	環境活動計画 (具体的活動)	摘要範囲						摘要 除外 指定管 理部 各常駐 先	
		リサイ クル事 業部	リサイ クルセ ンター	環境保 全部	総合管 理部	熊本南 営業所	総務部		
電気使用量の削減	出来るだけ消灯する	○	○	○	○	○	○	○	
	できる限り残業しない	○	○	○	○	○	○	△	
	エアコンの設定温度は室温を基準とし、冷房時 28℃、暖房時 20℃に設定する（温度計設置）	○	○	○	○	○	○	△	
化石燃料使用量の削減	ガソリン	アイドリングストップ	○	○	○	○	○	○	○
		エコドライブ実施（急発進急停止の禁止等）	○	○	○	○	○	○	○
	軽油	アイドリングストップ	○	○	○	○	—	—	—
		エコドライブ実施（急発進急停止の禁止等）	○	○	○	○	—	—	—
	灯油	退社 15 分前に暖房器具を止める	—	○	○	○	—	○	△
		ウォームビズの実施	○	○	○	○	○	○	○
水使用量の削減	水道メーターの定期確認	○	○	○	○	○	○	○	
一般廃棄物の排出量削減	分別を徹底しリサイクルに努める	○	○	○	○	○	○	○	
受託産業廃棄物のリサイクル率 100%の推進	排出事業者様への情報提供を行い、リサイクル処理を促す	○	○	—	—	—	—	—	
グリーン購入率の向上	コピー用紙	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	○	○	
	トイレットペーパー	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	○	○	
化学物質の適正管理	購入前に化学物質含有量等の確認を行う	—	—	○	○	—	—	—	
社会貢献・清掃活動実施	積極的に取り組む	○	○	○	○	○	○	○	

○：実施 △：出来るだけ実施 ▽：間接実施

※指定管理部および各常駐先については適用範囲外ですが、環境に配慮した運営を行っております。

7. 環境目標の実績

H25年度短期環境目標の実績 (H26年1月～H26年3月)

(事業年度：4月～3月)

*平成26年1月～3月(3か月間)実績評価

環境目標 (項目)		単位	平成24年度 H25年 1月～3月 (実績・基準)	平成25年度 H26年 1月～3月 (目標)	平成25年度 H26年 1月～3月 (実績)	平成25年度 H26年 1月～3月 (目標達成率)
電力使用量の削減		kWh	30,080	29,779 (1%削減)	31,510	93.3%
化石燃料 使用量の 削減	ガソリン	L	4,780	4,732 (1%削減)	4,738	99.8%
	軽油	L	28,775	28,487 (1%削減)	29,525	97.4%
	灯油	L	554	548 (1%削減)	696	74.4%
CO2排出量削減 (①+②+③+④)		Kg-CO2/	103,847	102,808 (1%削減)	105,025	98.9%
水の使用量の削減		m ³	126.2	124.9 (1%削減)	138.5	90.3%
一般廃棄物 (可燃ごみ)の 排出量削減		t	0.973	0.963	1.014	95.8%
受託産業廃棄物 のリサイクル率 100%推進		%	100	100	100	100
グリーン購入率 の向上		%	再生原料を使用し た商品を選定する	100	100	100
化学物質の 適正管理		—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
社会貢献 ・清掃活動実施		回	3月実施	1	3月実施	100%

①電力の二酸化炭素排出係数は九州電力23年度：0.525を使用。

*④に関連するCO2排出量の計算 (四捨五入)

④CO2排出量 = ①×0.525 + ②×0.0671×34.6 + ③×0.0687×38.2

8. 環境活動計画の取組状況とその評価

評価期間：2014年1月～3月（試用期間）

評価： ○：できた △：不足 ×できていなかった

環境目標項目	環境活動計画 (具体的活動)	評価及び担当者						除外範囲	
		リサイクル事業部	リサイクルセンター	環境保全部	総合管理部	熊本南営業所	総務部		
電気使用量の削減	出来るだけ消灯する	○ 深井	○ 橋本	○ 田中	○ 近藤	○ 甲斐	○ 勝木	○ 小石	
	できる限り残業しない	△ 深井	○ 橋本	○ 田中	○ 近藤	○ 甲斐	○ 勝木	△ 小石	
	エアコンの設定温度は室温を基準とし、冷房時28℃、暖房時20℃に設定する(温度計設置)	○ 深井	○ 橋本	○ 田中	○ 近藤	○ 甲斐	○ 勝木	△ 小石	
化石燃料使用量の削減	ガソリン	アイドリングストップ	○ 河野	○ 岩田	○ 木村	○ 緒方	○ 平野	○ 勝木	○ 村上
		エコドライブ実施(急発進急停止の禁止等)	○ 河野	○ 岩田	○ 木村	○ 緒方	○ 平野	○ 勝木	○ 村上
	軽油	アイドリングストップ	○ 河野	○ 岩田	○ 木村	○ 緒方	—	—	—
		エコドライブ実施(急発進急停止の禁止等)	○ 河野	○ 岩田	○ 木村	○ 緒方	—	—	—
	灯油	退社15分前に暖房器具を止める	—	○ 岩田	○ 木村	○ 緒方	—	○ 勝木	△ 村上
		ウォームビズの実施	○ 河野	○ 岩田	○ 木村	○ 緒方	○ 平野	○ 勝木	○ 村上
水使用量の削減	水道メーターの定期確認	○ 長村	○ 豊岡	○ 石川	○ 田中	○ 甲斐	○ 宗村	○ 内田	
一般廃棄物の排出量削減	分別を徹底しリサイクルに努める	○ 山田	○ 岩田	○ 近藤	○ 田添	○ 平野	○ 勝木	○ 勝間田	
受託産業廃棄物のリサイクル率100%の推進	排出事業者様への情報提供を行い、リサイクル処理を促す	○ 竹口	○ 中村	—	—	—	—	—	
グリーン購入率の向上	コピー用紙	—	—	—	—	—	○ 宗村	○ 平間	
	トイレットペーパー	—	—	—	—	—	○ 宗村	○ 平間	
化学物質の適正管理	購入前に化学物質含有量等の確認を行う	—	—	○ 草野	○ 前田	—	—	—	
社会貢献・清掃活動実施	積極的に取り組む	○ 木嶋	○ 吉永	○ 津志田	○ 上田	○ 平野	○ 勝木	○ 内田	

※除外範囲の指定管理部および各常駐先についても同様に評価を行っております。

◆環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 環境関連法規に関して遵守状況を確認した結果、違反等はありませんでした。
 また、関係行政機関等からの指摘・指導、利害関係者からの訴訟等もありませんでした。

関 連 法 規	遵 守 状 況
騒音規制法	○
振動規制法	○
悪臭防止法	○
下水道法	○
家電リサイクル法	○
労働安全衛生法	○
廃棄物処理法	○
再生資源の利用の促進に関する法律	○

9. 取組結果とその評価、次年度の取組内容

◆電力使用量の削減

計画に基づき活動したが、目標を達成することはできなかった。

リサイクル事業部において業務量が増加し、月平均約480kWh増加。さらに、H26年1月に選別ラインを導入したことにより1,464kWh増加したことが大きな要因だった。

今後もこれまでの活動を継続するとともに、エアコンフィルターの定期的な清掃等の活動を取り入れ、更なる節電に努め、目標達成を目指す。

◆化石燃料使用量の削減

● ガソリン使用量の削減

エコドライブに対する意識向上のため、車輛ごとの燃料記入表を作成し、給油量を記入と燃費計算を行った結果、エコドライブへの意欲が向上し、ガソリン使用量の抑制につながった。しかし、目標を達成することはできなかった。

今後も引き続き、燃料記入表を活用してエコドライブの呼びかけを行い、目標の達成を目指す。

● 軽油使用量の削減

ガソリン同様軽油についても燃料記入表を使用した活動を行ったが、目標を達成することはできなかった。これは業務量の増加が主な要因だと考えられる。

今後はこれまでの活動を継続するとともに、使用する車両の選定や運行計画等の見直しなど、業務内容に合わせ、適切な計画を立て活動をしていく。

● 灯油使用量の削減

ウォームビズを呼びかけたが、目標達成はできなかった。

引き続きウォームビズを呼びかけ、暖房器具の使用時間の短縮や帰社後の事務処理の効率化をはかり、事務所内業務の短縮を目指す。

◆ 水使用量の削減

節水ステッカー掲示で呼びかけを行ってきたが、目標達成できなかった。
業務量の増加による洗濯回数の増加が一因である。今後は各部署でさらなる節水の呼びかけを行うと同時に、水道メーターの定期的確認を行っていく。

◆ 一般廃棄物の排出量削減

各事業部の業務量と人員の増加に伴い、1日平均0.8kgの増加となり、目標は達成できなかった。
今後、エコアクション21委員会を中心により一層の指導を行い、チェック体制の強化と分別などに対する定期的な勉強会を実施する。目標達成した部署は、朝礼で表彰するなど楽しみながら活動できる試みを取り入れたい。

◆ 受託産業廃棄物のリサイクル率 100%推進

当社は産業廃棄物の処理を事業としているが、その目的は適正な処分ではなく、再資源化を目指している。今期は産業廃棄物の中間処理業務を開始して約1年で処理量が少なかったことと排出事業者様の理解もあり、中間処理後にリサイクルできる品目のみを受託したため、100%を達成することができた。
今後は業務拡大に伴い様々な品目を扱うことが予想されるが、2次処理業者の情報収集やさらなる先進技術の導入等によりリサイクル率100%の維持を目指す。

◆ グリーン購入率の向上

再生原料を使用した商品を選定して購入することができた。
引き続き、環境に配慮した製品の購入を徹底していく。

◆ 化学物質の適正管理

現在はPRTR法により定められた指定化学物質を含まない洗剤や薬品を使用している。今後も引き続き購入前の指定化学物質含有確認を行い、出来るだけ使用しないように努める。

◆ 社会貢献・清掃活動実施

社内環境委員会の活動として、会社周辺道路のゴミ拾いや花壇の手入れを定期的に行った。また、NPO法人や各種団体の活動にも積極的に参加した。これらの活動を通じて社員それぞれが地域に対しての社会的役割と責任をより理解し、環境保全に関する意識が向上したと思います。
今後も積極的かつ継続的な環境保全活動を行う。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境負荷軽減に対する取り組みは現代を生きる者としての責務であると考えている。

未来に向けて我々にできることは少しずつでも取り組むことが必要。

今回は設備投資による設備の拡充と業務量の増大により目標を達成することはできなかったが、環境活動を継続することにより、多方面での効率アップが図れると期待している。

今後はまず、現在の目標達成を目指し、現状の目標、計画、取り組みを継続するものとする。

なお、仕事の進め方、やり方等の見直しも含めて取り組むことを期待する。